

(様式第11)



番号
令和 7 年 10 月 2 日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

住 所 茨城県龍ヶ崎市巾着1丁目1番
申請者 社会福祉法人恩賜財団済生会
龍ヶ崎済生会病院
氏 名 院長 海老原 次男

龍ヶ崎済生会病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和 6 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒311-4145 茨城県水戸市双葉台3丁目3番10号
氏名	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 茨城県済生会 支部長 村田 実

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

龍ヶ崎済生会病院

3 所在の場所

〒301-0854 茨城県龍ヶ崎市巾着1丁目1番	電話 (0297) 63 - 7111
-----------------------------	-----------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	204 床	204 床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	病床数 4床 心電図、除細動器、生体モニター、人工呼吸器、アイスタット、輸液ポンプ シリンジポンプ、自家発電、CHDF対応、体温管理システム、 救急蘇生装置
化学検査室 (検体検査室)	臨床化学自動分析装置、血液ガス分析装置、全自動血液検査装置、自動血液凝固 検査装置、全自動尿分析装置、尿中有形成分自動分析装置、全自動輸血検査装 置、クームス自動洗浄機、全自動グルコース分析装置、全自動グリコヘモグロビ ン測定装置、臨床検査システム、顕微鏡 血液培養装置、試薬冷蔵庫
細菌検査室	オートクレーブ、安全キャビネット、孵卵器、炭酸ガス培養装置、全自動同定薬 剤感受性検査装置、大型試薬冷蔵庫、細菌検査システム、顕微鏡、冷凍庫
病理検査室	クリオスタット、ラミナーテーブル、光触媒環境浄化装置
病理解剖室	解剖台、切り出し流し台
研究室	医局3室 (パソコン、プリンター、電子カルテ、机、椅子) 医学用シミュレーター (CVC穿刺、挿管・気管支鏡、大腸内視鏡、腹腔鏡、腰椎 穿刺)、研修医室1室
講義室	室数 6 室 収容定員 309 人
図書室	室数 1 室 蔵所数 500 冊程度
救急用又は患者 搬送用自動車	保有台数 1 台 除細動器、ストレッチャー、固定用血圧計、固定式心電図モニター、 携帯型モニター、吸引器、医療用酸素ポンプ、担架
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 9.54 m ² [共用室の場合]

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式第 12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	79.2 %	算定期間	R6 年 4 月 1 日～ R7 年 3 月 31 日
地域医療支援病院逆紹介率	110.3 %		
算出根拠	A : 紹介患者の数		5, 556 人
	B : 初診患者の数		7, 012 人
	C : 逆紹介患者の数		7, 737 人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
2	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
3	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
4	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
5	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
6	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
7	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
8	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
9	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
10	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
11	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
12	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
13	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
14	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
15	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
16	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
17	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
18	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
19	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
20	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
21	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
22	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
23	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
24	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
25	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
26	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
27	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
28	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
29	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
30	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
31	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
32	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
33	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
34	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
35	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
36	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
37	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
38	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
39	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
40	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
41	医師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
42	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
43	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
44	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
45	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
46	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
47	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
48	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
49	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
50	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
51	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
52	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
53	薬剤師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
54	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
55	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
56	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
57	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
58	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
59	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
60	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
61	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
62	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
63	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
64	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
65	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
66	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
67	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
68	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
69	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
70	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
71	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
72	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
73	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
74	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
75	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
76	臨床検査技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
77	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
78	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
79	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
80	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
81	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
82	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
83	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
84	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
85	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
86	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
87	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
88	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	
89	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有
90	放射線技師		✓常勤 専従 非常勤 ✓非専従	8:30~17:30	当直有

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考	
91	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
92	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
93	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
94	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
95	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
96	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
97	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	夜勤有
98	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
99	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	夜勤有
100	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	夜勤有
101	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
102	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
103	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
104	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	夜勤有
105	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
106	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	夜勤有
107	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
108	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考	
109	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
110	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
111	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
112	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
113	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	夜勤有
114	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	夜勤有
115	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	夜勤有
116	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
117	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	夜勤有
118	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
119	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
120	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
121	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
122	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
123	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
124	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
125	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
126	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考	
127	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
128	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
129	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
130	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
131	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
132	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
133	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
134	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
135	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	9:00~17:00	
136	看護師		常勤 ✓非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
137	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~16:30	
138	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
139	看護師		常勤 ✓非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
140	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
141	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
142	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
143	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
144	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考	
145	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
146	看護師		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
147	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	夜勤有
148	看護師		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	夜勤有
149	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
150	看護師		✓常勤 非常勤	専従 ✓非専従	8:30~17:30	夜勤有
151	看護助手		常勤 ✓非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
152	看護助手		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
153	救急救命士		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	9:00~17:30	夜勤有
154	救急救命士		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	夜勤有
155	救急救命士		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~16:30	夜勤有
156	救急救命士		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	夜勤有
157	救急救命士		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	
158	救急救命士		✓常勤 非常勤	✓専従 非専従	8:30~17:30	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	4 床
専用病床	5 床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
集中治療室	129.38 m ²	心電図計、除細動器、生体モニター、人工呼吸器、アイスタット、輸液ポンプ、救急蘇生装置、シリンジポンプ、体温管理システム 他	可
臨床検査室	316.42 m ²	臨床化学自動分析装置、血液ガス分析装置、全自動血液検査装置、オートクレーブ、血液培養装置、細菌検査システム、孵卵器、心電図検査、心エコー、内視鏡システム 他	可
放射線科	285.89 m ²	血管造影装置、CT、MRI、超音波診断装置、一般撮影装置、X線TV装置 他	可
救急外来診察室	90 m ²	中央配管（酸素・笑気・空気・吸引）、モニター、人工呼吸器、救急カート、除細動器、12誘導心電図、ヘパフィルター、輸液ポンプ、シリンジポンプ、エコー、Vスキャン、酸素ボンベ、エアウェイスコープ、血液ガス分析装置、バックバルブマスク、マックグラス（挿管用）、アイジェル 他	可
手術室	169 m ²	手術台4台、全身麻酔器、モニター、電気メス、バイポーラ、顕微鏡、除細動器、无影灯、移動型術中透視装置、超音波エコー、腹腔鏡、ボーンバンク用冷蔵庫 他	可

4 備考

救急告示病院

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した 救急患者の数	2, 742 人 (1, 201 人)
上記以外の救急患者の数	4, 912 人 (735 人)
合計	7, 654 人 (1, 936 人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

(様式第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

令和 6年 4月～令和 7年 3月 実績

- 共同利用を行った医療機関の延べ数 1,129 件
- 開設者と直接関係のない医療機関の延べ数 553 件
- 開放型病床数 8 床（利用患者延べ数 568 名 利用率 30.80 %）

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

- 1 共同病床 8 床
地域医療連携室、地域医療連携室FAX、登録医用白衣・名札
- 2 カンファレンス用設備
プロジェクター、パソコン、テレビ、カメラ、ホール貸し出し
- 3 検査機器
 - (1) 放射線科
MRI、CT、超音波検査装置、内視鏡検査装置、骨密度測定装置
 - (2) 生理検査
心電図検査装置、心エコー検査装置、血管エコー検査装置、呼吸機能検査装置、24時間心電図
- 4 その他
栄養指導

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有・無
- イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：XXXXXXXXXX
職種：地域医療連携室

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙参照				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	8 床
--------------	-----

(様式第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	22 回
(2) (1) の合計研修者数	708 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有 無
 イ 研修委員会設置の有無 有 無
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	循環器内科	部長	35 年	教育責任者
	医師	消化器内科	院長	44 年	
	医師	脳神経内科	副院長	29 年	
	医師	整形外科	部長	29 年	
				年	
				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
済生会ホール	286.38 m ²	収容人数 165人 机、椅子、プロジェクター
会議室 2	34.80 m ²	収容人数 20人
会議室 3	34.80 m ²	収容人数 20人
会議室 4	26.47 m ²	収容人数 12人 机、椅子
会議室 5	26.47 m ²	収容人数 12人 机、椅子
南棟会議室	144.0 m ²	収容人数 80人 机、椅子、プロジェクター

机、椅子、プロジェクター
 会議室2と3は、可動パーティションにより仕切られており、2室併せた使用が可能

(様式第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	
管理担当者氏名	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		<ul style="list-style-type: none"> ・中央病歴管理室 ・看護部 ・地域医療連携室 ・電子カルテ内 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者番号 ・月別、年度別
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	・地域医療連携室	月別、年度別
	救急医療の提供の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室 ・総務課 	月別、年度別
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	・地域医療連携室	月別、年度別
	閲覧実績	・地域医療連携室	月別、年度別
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	・地域医療連携室	月別、年度別

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	
閲覧担当者氏名	
閲覧の求めに応じる場所	地域医療連携室
閲覧の手続の概要 カルテ閲覧手順 <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請書を提出（依頼は地域医療連携室へのFAXまたは電話にて受付） ・ 申請受理后、日程調整 ・ 担当医同席のもとカルテ閲覧 	

前年度の総閲覧件数		実績なし	件
閲覧者別	医師		件
	歯科医師		件
	地方公共団体		件
	その他		件

(様式第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	3 回	
委員会における議論の概要		
<p>令和6年度 第1回地域医療支援病院運営委員会 開催日時：令和5年7月4日（木）</p> <ol style="list-style-type: none">1 開会の挨拶 本年4月に付属棟・北棟が竣工しました。外国人患者も増加傾向であり、受入を積極的に行っている。2 実績報告<ul style="list-style-type: none">○紹介率・逆紹介率○入院患者地域別比較○救急搬送件数及び救急車入院数と入院率 患者構成（診療科・年齢・病名）○機器共同利用件数○2023年度 投書・患者サービス室取り扱い件数○2023年度・2024年度の地域連携カンファランス（実績・予定）3 当院での分娩件数 龍ヶ崎市の出生数の割合4 産科病棟の改修について<ul style="list-style-type: none">・2023年1月から改修工事を実施。・工事中は出産件数が減少したが、完成後は徐々に回復。7月以降の予約状況も改善傾向。5 医療現場の労働環境と人員配置について<ul style="list-style-type: none">・救急対応が手薄で、2～3人分の仕事を1人でこなしている状況。カテーテル治療など複数人で行う必要がある処置での人手不足が課題・整形外科も人員が不足しており、緊急手術や予定手術の需要に対応しきれていない。6 地域医療の集約化と課題<ul style="list-style-type: none">・人口減少と医療の高度化に伴い、医療サービスの集約化が必要。各市町村に病院を維持するのは困難になりつつある。7 外国人労働者の医療問題<ul style="list-style-type: none">・医療費の支払いが困難なケースが多く、治療後音信不通になるケースが増えている。		

第2回地域医療支援病院運営委員会

開催日時：令和6年10月3日（木）

1 実績報告

- 紹介率・逆紹介率
- 紹介患者数 紹介元別上位50位
- 逆紹介患者数 紹介先上位50位
- 救急車搬送の件数及び救急車入院数と入院率
- 救急搬送受入状況（応需状況）
- 救急搬送入院患者の属性（診療科、年齢、診断群別）
- 2024年度地域連携カンファランス実績報告

2 済生会フェアの開催について

- ・2024年11月17日（日）に開催予定
- ・龍ヶ崎市・商工会・消防・警察などと協力し大規模に実施予定

3 その他の報告事項

- ・龍ヶ崎市長（萩原様）より、会計待ち時間に対する市民からのクレームが市役所に入る
→電子カルテ更新に合わせて改善予定
- ・看護師不足が問題。コロナ渦で離職率が上昇し、現在170床程度の運用
- ・参加の出産率は回復傾向。月10～14件程度、最高で30件

第3回地域医療支援病院運営委員会

開催日時：令和7年1月20日（月）

1 実績報告

- 紹介率、逆紹介率
- 救急車搬送件数及び救急車入院数と入院率
- 救急搬送受入状況（応需状況）
- 救急搬送入院患者の属性（診療科、年齢、診断群別）
- 2024年度地域連携カンファランス実績報告

2 その他

- ・救急車選定療養費についての説明・状況報告
- ・龍ヶ崎市長より
市役所に「具合が悪く病院に行ったら、救急車選定療養費をとられた」という苦情が入っています→制度についての説明と理解を求めた
- ・12月は2名から徴収
- ・運用開始当初は件数が減少したが、インフルエンザや新型コロナウイルスの流行とともに増加し、最終的には前年12月を上回る受入件数となった。

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 相談室 その他 (病棟等)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	看護師 MSW 事務
患者相談件数	3,752 件
患者相談の概要	
<p>令和5年度実績</p> <p>【患者相談の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none">○入院相談○転院相談○医療費相談 (健康保険・公費制度の援助・医療費支払いに関する相談)○無料低額診療事業の説明○福祉相談 (各種手帳、年金、手当、補装具)○療養相談 (受診援助・入院援助・療養上の問題調整)○病状に関すること、継続する医療処置に関する相談○クレーム対応○要望 <p style="text-align: right;">等</p> <p>【講じた対策】</p> <ul style="list-style-type: none">○会計待ち時間が長い →自動精算機導入を検討し、2025年6月に設置○内視鏡検査時に更衣室で着替えていたところ男性が入ってきた (案内板無し) →直ちに「男子更衣室」「女子更衣室」の案内板を設置した。 <p>【相談体制の充実に向けた対策】</p> <ul style="list-style-type: none">○外来患者や入院患者に対し相談室の周知・徹底を図る (院内掲示、入院時に案内)○入院時スクリーニングによる課題の抽出、病棟とのカンファレンスの活用により関わる全ての職種が連携を図り、患者支援体制を整える。	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 2019年5月10日 日本医療機能評価機構	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・情報発信の方法、内容等の概要 <input type="radio"/> ホームページ <input type="radio"/> 広報誌 <input type="radio"/> 近隣医療機関への郵送物（毎月） ・カンファレンスの案内 ・診療科別担当医一覧表 ・休診・代診表 ・日当直表 ・医師紹介	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・退院調整部門の概要 看護師8名配置（内2名専従）、社会福祉士2名、入退院支援加算1取得 退院困難な患者を抽出し要因を分析。安心・安全な退院が出来るよう地域を含めた他職種でカンファレンス・連携を行い退院計画・調整を行う。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 <input type="radio"/> 脳卒中地域連携パス <input type="radio"/> 大腿骨地域連携パス ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み <input type="radio"/> MSWによる評議会への参加	

龍ヶ崎済生会病院 開放型病床登録医申請書

氏名	フリガナ		
保険医登録 記号番号			
医療機関名	フリガナ		
開設者			
TEL		FAX	
所在地	〒 _____		
緊急時連絡先			
ベット数	無 床	有 床	床
診療科目			

上記のとおり申請いたします。

20 年 月 日

龍ヶ崎済生会病院

院長 海老原 次男殿

氏名 _____ 印

龍ヶ崎済生会病院
開放型病床運営規定

(目的)

第1条 この規定は龍ヶ崎済生会病院（以下「病院」という）の開放型病床の運営に関し必要な事項を定める。

(登録医)

第2条 この規定において「登録医」とは、龍ヶ崎市医師会・牛久市医師会ならびに周辺医師会および歯科医師会の会員のうち申請のあったものなかから病院長が承認した者をいう。

(担当医)

第3条 この規定において「担当医」とは、登録医から紹介された入院患者について主に診療を担当する病院の医師をいう。

(開放型病床)

第4条 この規定において「開放型病床」とは登録医が紹介・入院させ自ら病院に赴いて診察し療養上の指導（以下「指導」という。）を行うことが出来る患者の病床をいう。

(対象病床)

第5条 対象病床は8床とする。

(対象診療科)

第6条 対象診療科は当病院の診療科全科。

(対象患者)

第7条 対象患者は急性期疾患患者とする。

(入院)

第8条 登録医は、あらかじめ当院へ連絡して、開放型病床利用希望を申し出て、当該診療科責任医師（またはその代行医師、日当直医師）に連絡して、病状および入院目的を説明し、受け入れを確認した後、患者に診療情報提供書を持参させ、担当診療科に紹介する。

2 担当医は、当該患者を診察した後、治療方針について速やかに登録医に電話等により連絡する。

3 地域医療連携・相談室は登録医に対し、開放型病床入院報告書をFAX若しくは郵送する。

4 入院期間は原則として1ヶ月を限度とする。

(退院)

第9条 退院は担当医と登録医が協議して決めるものとし、退院に際して担当医は患者に紹介状（診療情報提供書）を交付し、紹介登録医に後送する。

(診療及び指導)

第10条 開放型病床を利用する患者の担当医と登録医は常に連携を密にし、病状・検査の説明・指導にあたっては、患者に誤解や不安を与えないよう細心の注意を払わなければならない。

2 登録医が病院へ紹介入院させた患者を診察するについては次により行うものとする。

(1) 登録医は患者を診察し担当医と事前に協議の上、患者に療養上の指導等を行うものとする。

(2) 担当医と協議した結果行う、検査、処方、治療等の指示については担当医がこれを行うものとする。ただし、最終的決定には十分なインフォームドコンセントに基づき、患者、患者家族と担当医師との間で行うものとする。

(3) 登録医から希望がある場合、院長が許可したのものについて患者の了解を得た上で、検査や手術、治療に助手として参加することができる。

(4) 病床における登録医の診療並びに指導等の時間は8時30分から21時までとする。ただし、緊急の場合はこの限りではない。

(5) 登録医が指導等のために来院するときは、あらかじめ電話等により地域医療連携・相談室に来院日時を連絡するものとする。

ただし、土曜午後、日、祝日及び午後5時以降は警備室に連絡するものとする。

(6) 登録医は、共同指導等を行った場合には、病棟に準備した開放型病院共同指導票（別紙様式）に必要事項を記載して、1枚（登録医用）は持ち帰り、残りは病棟クランクまたは看護師、医師に手渡すものとする。

地域医療連携・相談室においては、1枚（入院カルテ用）を電子カルテに取込み保存し、1枚は医事課保管とし、1枚（地域連携室控）は地域医療連携・相談室にて保管し、共同指導を行ったものとする。

(7) 登録医は、指導等を行わない場合にも、来院し医師として患者と接した場合には地域医療連携・相談室または警備室に来院した旨の記名を行う。

(開放型病院共同指導料の徴収)

第11条 紹介元の登録医と共同して紹介入院患者の指導を行った場合、共同指導料は双方が診療報酬点数表に基づき請求する。登録医が行った共同指導料にかかる患者一部負担金については登録医が徴収するものとする。

(登録医の責務)

第12条 登録医は病院内においては診察衣の着用が望ましく、所定の名札を付けるものとする。

2 病院内においては病院の諸規定を遵守しなければならない。

(損害賠償)

第13条 登録医・担当医の医療行為により、患者もしくはその家族等から損害賠償を求められた場合は、関係者で協議するものとする。

(運営)

第14条 開放型病院の運営に関するすべての事項を審議するため、「龍ヶ崎済生会病院開放型病床運営協議会」（以下「運営協議会」という）を設置する。

2 運営協議会の組織は次のとおりとする。

会長 病院長

副会長 2名とし、副院長及び龍ヶ崎市医師会・牛久市医師会会長

委員 病院側4名（診療部長、事務部長、看護部長、総務課長）

医師会側4名（会員の内から選任）

事務局 地域医療連携・相談室

(1) 委員の任期は2年とするが再任を妨げない。

(2) 会長は協議会を主宰する。

(3) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(4) 会長は必要に応じ委員以外のものを協議会に出席させることができる。

3 協議会は、会長が必要と認めたときに召集する。

(雑則)

第15条 この規定に定めのない事項については、この協議会において適宜協議するものとする。

附則 この要項は、2003年7月14日から施行する。

2005年11月10日 一部改訂

2006年11月30日 一部改訂

2013年11月14日 一部改訂

2021年4月1日 一部改訂

龍ヶ崎済生会病院

登録医・開放型病床運営に関する協定書

病診機能の円滑な連携をはかり、併せて、医学の進歩と医療技術の発展に対応し、地域包括医療の実践と生涯教育の確立のため、龍ヶ崎済生会病院の中に運営する『龍ヶ崎済生会病院開放型病床』（以下開放型病床という）の管理運営について、『龍ヶ崎市医師会・牛久市医師会』（以下甲という）と『龍ヶ崎済生会病院』（以下乙という）は次の通り協定する。

（登録医）

第1条 この規定において『登録医』とは甲に所属する者のうち、申請のあったもののなかから乙の院長が承認した者をいう。

（担当医）

第2条 この規定において「担当医」とは、登録医から紹介された入院患者について主に診療を担当する乙の医師をいう。

（開放型病床）

第3条 この規定において「開放型病床」とは甲が紹介・入院させ自ら病院に赴いて診察し療養上の指導（以下「指導」という）を行うことが出来る患者の病床をいう。

（対象病床）

第4条 対象病床は8床とする。

（対象診療科）

第5条 対象診療科は乙の診療科全科

（対象患者）

第6条 対象患者は急性期疾患患者とする。

（入院）

第7条

- 1 登録医は、あらかじめ乙へ連絡して、開放型病床利用希望を申し出て、当該診療科責任医師（またはその代行医師、日当直医師）に連絡して、病状および入院目的を説明し、受け入れを確認した後、患者に診療情報提供書を持参させ、担当診療科に紹介する。
- 2 担当医は、当該患者を診察した後、治療方針について速やかに登録医に電話等により連絡する。
- 3 地域医療連携室は登録医に対し、開放型病床入院報告書をFAX若しくは郵送する。
- 4 入院期間は原則として1ヶ月を限度とする。

（退院）

第8条 退院は担当医と登録医が協議して決めるものとし、退院に際して担当医は患者に紹介状（診療情報提供書）を交付し、紹介登録医に後送する。

(診療及び指導)

第9条 開放型病床を利用する患者の担当医と登録医は常に連携を密にし、病状・検査の説明・指導にあたっては、患者に誤解や不安を与えないよう細心の注意を払わなければならない。

登録医が病院へ紹介入院させた患者を診察するについては次により行うものとする。

- 1 登録医は患者を診察し担当医と事前に協議の上、患者に療養上の指導等を行うものとする。
- 2 担当医と協議した結果行う、検査、処方、治療等の指示については担当医がこれを行うものとする。ただし、最終的決定には十分なインフォームドコンセントに基づき、患者、患者家族と担当医師との間で行うものとする。
- 3 登録医から希望がある場合、院長が許可したものについて患者の了解を得た上で、検査や手術、治療に助手として参加することができる。
- 4 病床における登録医の診療並びに指導等の時間は8時30分から21時までとする。ただし、緊急の場合はこの限りではない。
- 5 登録医が指導等のために来院するときは、あらかじめ電話等により地域医療連携室に来院日時を連絡するものとする。ただし、土曜午後、日、祝日及び午後5時以降は警備室に連絡するものとする。
- 6 登録医は、共同指導等を行った場合には、病棟に準備した開放型病院共同指導票(別紙様式)に必要な事項を記載して、1枚(登録医用)は持ち帰り、残りは病棟クラークまたは看護師、医師に手渡すものとする。病棟においては、1枚(病棟用)は入院カルテに貼付し、1枚は医事課保管とし、1枚(地域医療連携室用)は地域医療連携室に送付し、共同指導を行ったものとする。
- 7 登録医は、指導等を行わない場合にも、来院し医師として患者と接した場合には地域医療連携室または警備室に来院した旨の記名を行う。

(開放型病院共同指導料の徴収)

第10条 紹介元の登録医と共同して紹介入院患者の指導を行った場合、共同指導料は双方が診療報酬点数表に基づき請求する。登録医が行った共同指導料にかかる患者一部負担金については登録医が徴収するものとする。

(登録医の責務)

第11条 登録医は乙の院内においては診察衣の着用が望ましく、所定の名札を付けるものとする。又、乙の院内においては病院の諸規定を遵守しなければならない。

(損害賠償)

第12条 登録医・担当医の医療行為により、患者もしくはその家族等から損害賠償を求められた場合は、関係者で協議するものとする。

(便宜供与)

第13条 登録医は申し出により次の便宜が供与される。

- 1 地域医療連携室、カンファレンス室、図書室の利用。
- 2 乙で行われる各科症例検討会及び手術・検査等の見学について乙の院長の了解のもとに参加できるものとする。
- 3 登録医の医院における患者の検査を乙に依頼する事ができる。

(運営)

第 14 条 開放型病院の運営に関するすべての事項を審議するため、「龍ヶ崎済生会病院開放型病床運営協議会」(以下「運営協議会」という)を設置する。

1 運営協議会の組織は次のとおりとする。

会長	病院長
副会長	2名とし、副院長及び龍ヶ崎市医師会・牛久市医師会会長
委員	乙側4名(事務部長、診療部長、看護部長、総務課長) 甲側4名(甲の内から選任)
事務局	地域医療連携室

委員の任期は2年とするが再任を妨げない。

会長は協議会を主宰する。

副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。会長は必要に応じ委員以外のものを協議会に出席させることができる。

2 協議会の開催

協議会は、会長が必要と認めたときに召集する。

2 この規定に定めのない事項については、この協議会において適宜協議するものとする。

(その他)

第 15 条 この協定に定めのない事項お呼びこの協定に関し疑問を生じた事項については、その都度、甲、乙協議して定めるものとする。
この契約を証するため、本書2通を作成し、甲、乙記名押印のうえ、各1通を保有するものとする。

年 月 日

「甲」 住 所

氏 名

「乙」 住 所

氏 名

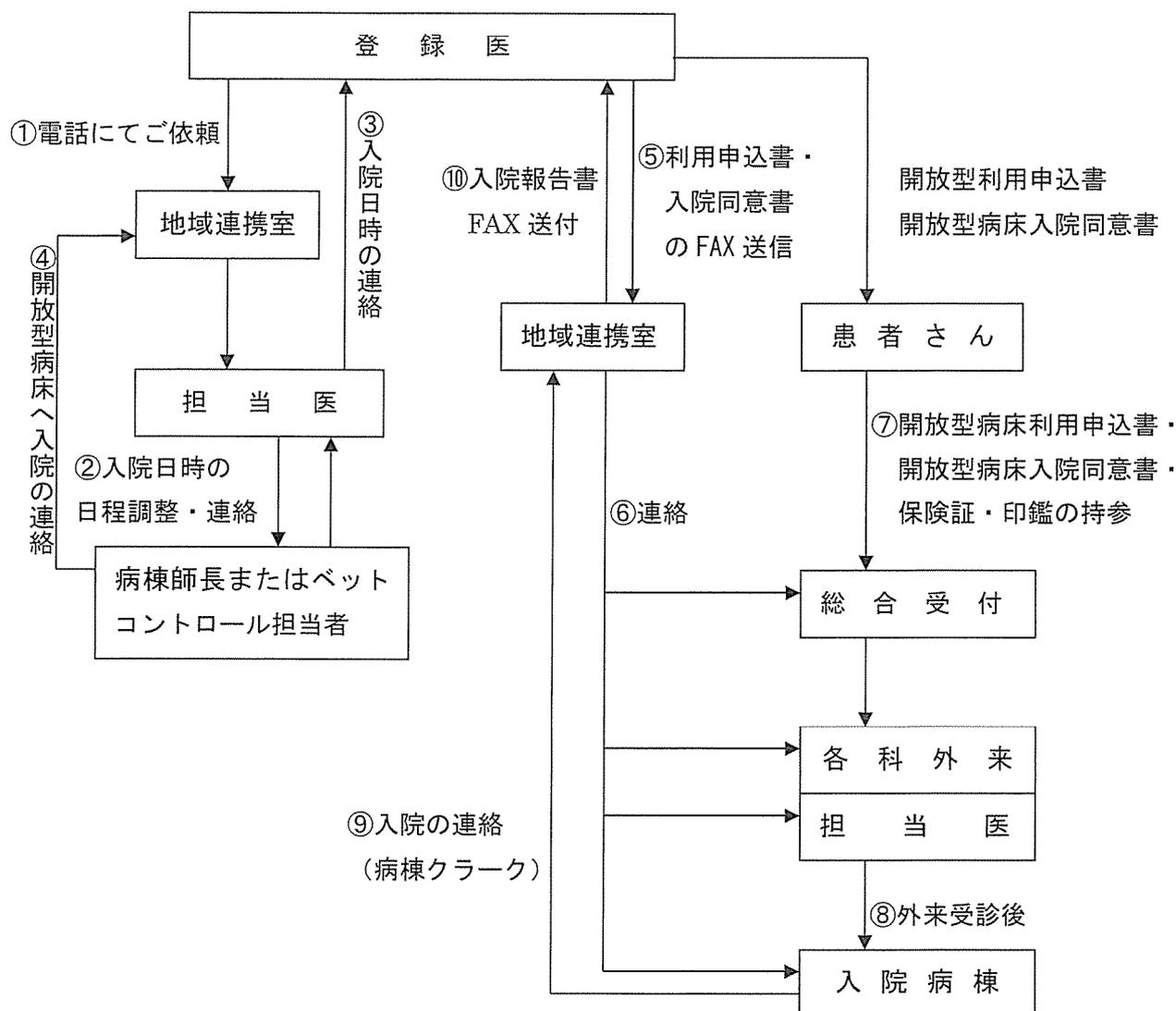
開放型病床利用手順書

1. 入院申し込み・受診

・平日 8:30～17:15 土曜日 8:30～12:30：地域医療連携室にて対応

TEL 0297-63-7125

FAX 0297-63-7164



- (1) 登録医より患者さんに開放型病床入院について十分な説明をし、同意を得て頂く。(登録医)
- (2) 同意が得られた場合、登録医は地域連携室に連絡し、開放型病床の利用を希望すると伝える。(登録医)
- (3) 開放型病床が開いているかどうか確認の上、担当医師に連絡する。開放型病床が満床の場合、一般病床に入院となることを医師に伝える。(地域連携室)
- (4) 担当医師は病棟師長またはベットコントロール担当に日程調整後、入院日時を登録医に伝える。(担当医)
- (5) 病棟師長またはベットコントロール担当は地域連携室に、開放型病床に入院日時の連絡をする。(病棟師長またはベットコントロール担当)
- (6) 診療情報提供書（開放型病床利用申込書）・開放型病床入院同意書を FAX にて地域連携室まで送信して頂く。(登録医)

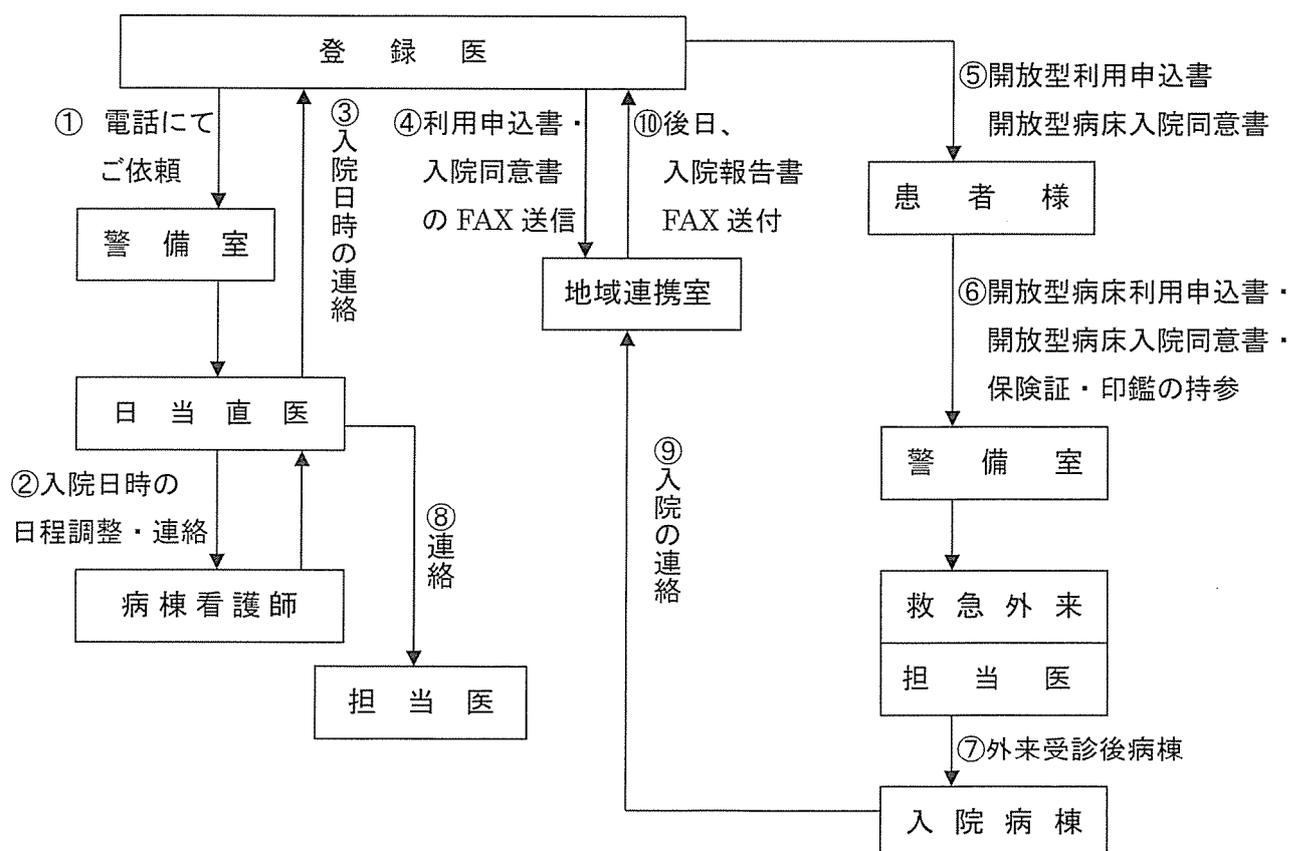
- (7) 地域連携室にてカルテを事前に作成し、担当医・総合受付・各科外来・入院病棟に連絡する。
(地域連携室)
※入院が翌日以降の場合には、連携室であらかじめカルテを作成後担当医に連絡しますので、入院予約を入れて頂く。(担当医)
- (8) 入院日当日、患者さんは総合受付にて診療情報提供書（開放型病床利用申込書）、開放型病床入院同意書、保険証、印鑑を提出し、外来受診・入院の申し込みをする。(総合受付)
※その際、連携室保管用に通常の紹介患者同様、封筒のコピーをする。
- (9) 原則として外来受診後、病棟に上がる。
- (10) 病棟クラークは地域連携室に入院確認の連絡をする。(病棟クラーク)
- (11) 担当医は、入院時御報告書を、登録医に送付する。必要に応じ電話、FAX 等で連絡する。
(担当医)
- (12) 地域連携室は、入院報告書を FAX にて登録医へ送信する。(地域連携室)

※開放型病床全体のベッドコントロールの責任者は副院長、看護部長とする。

・時間外：警備室にて対応

TEL 0297-63-7111 (代表)

FAX 0297-63-7164



- (1) 登録医より患者さんに開放型病床入院について十分な説明をし、同意を得て頂く。(登録医)
- (2) 同意が得られた場合、登録医は代表（警備室）に連絡し、開放型病床利用希望すると伝える。(登録医)
- (3) 警備室は日当直医に連絡する。(警備室)
- (4) 日当直医は、病棟看護師と日程調整・連絡後、入院日時を登録医に伝える。(日当直医)
※地域連携室は平日 17 時・土 12 時に開放型病床空床状況を救急外来に連絡する。(地域連携室)

- (5) 診療情報提供書（開放型病床利用申込書）・開放型病床入院同意書を FAX にて地域連携室まで送信して頂く。（登録医）
- (6) 患者さんは警備室にて診療情報提供書（開放型病床利用申込書）、開放型病床入院同意書、保険証、印鑑を提出し、外来受診申し込みをする。（警備室）
- (7) 原則として外来受診後、病棟に上がる。
- (8) 日当直医より担当医に引継ぎをする。
- (9) 担当医は、入院時御報告書を登録医に送付する。必要に応じ、電話・FAX 等で連絡する。（担当医）
- (10) 翌日、病棟クラークは地域連携室に開放型病床入院の連絡をする。（病棟クラーク）
- (11) 翌日、地域連携室は入院報告書を FAX にて登録医へ送信する。（地域連携室）

2. 開放病床来院時

登録医の開放型病床における診療並びに指導等の時間は、8時30分から21時までとする。

- (1) 来院するときは、あらかじめ電話等により地域医療連携室（土曜午後、日、祝日及び午後5時以降は警備室）に来院日時を連絡頂く。（登録医）
- (2) 地域連携室は担当医師、看護師長、総合受付（時間外：警備室）に連絡する。（地域連携室）
- (3) 登録医が総合受付に来院されたら、連携室まで連絡する。（総合受付）
- (4) 病棟に行く前に地域医療連携室にお立ちより頂く。（登録医）
 - ・必ず名札を着用。お忘れの場合は申し出て頂きますので、連携室まで連絡する。（時間外：警備室）
 - ・白衣は連携室にあるロッカーに各サイズ用意してある。
 - ・登録医来院記録簿に記入頂く。
- (5) ナースステーションにて「共同診療」の旨をお伝え頂く。（登録医）
 - ・共同診療は原則としてナースステーション又は病室にて行う。
- (6) 登録医に開放型病床共同指導票を渡す。（病棟クラーク）
- (7) 登録医は病棟に準備した開放型病床共同指導票に必要事項を記載し、クラーク（時間外：看護師、医師）に渡して頂く。2枚目は登録医に返却する。（病棟クラーク）
- (8) 病棟クラークは以下のようにする。
1枚目：入院カルテ用 2枚目：登録医用 3枚目：地域連携室用 4枚目：医事課保管
※1 指導等を行わない場合にも、地域医療連携室（土曜午後、日、祝日及び午後5時以降は警備室）に来院日時を連絡して頂きますので、上記と同様にする。

3. 退院手続き

- (1) 退院日については担当医と登録医が協議する。
- (2) 退院が決まったら病棟クラークより連携室に連絡する。（病棟クラーク）

4. 開放型病院共同指導料について

2006年4月時点

共同指導料は双方が診療報酬点数に基づき請求します。登録医が行った共同指導料にかかる患者一部負担金については登録医が徴収する。

①開放型病院共同指導料（Ⅰ）350点

開放型病床に入院中である場合において、登録医が開放型病床に赴いて、当該患者に対し登録医と担当医が共同で診療、指導等を行った場合に1人の患者に1日つき1回算定できる。

その算定は登録医の属する保健医療機関において行う。

開放型病院共同指導料（Ⅰ）を算定した場合は、再診料、外来診療料及び往診料等は算定できない。

②開放型病院共同指導料（Ⅱ）220点

登録医の属する保健医療機関が開放型病院共同指導料（Ⅰ）を算定した場合、開放型病院において算定する。

《注意事項》

共同指導実施票に基づいて、病名・診療日数等をレセプトに転記し、開放型病院共同指導料（Ⅱ）を算定する。

2003年8月 作成

2007年10月 一部改訂

2013年9月 一部改訂

開放型病床共同指導票

患者氏名 _____ 男・女

生年月日 大・昭・平・令 _____ 年 _____ 月 _____ 日生
(右エンボスがあれば不要です)

所属医療機関	医院・病院 クリニック	登録医 番号	不明な場合 事務で記入
登録医署名			
担当医師署名	龍ヶ崎済生会病院	科	
診療科名	消化器内科 呼吸器内科 内分泌・代謝内科 循環器内科 神経内科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科		
入院病棟	階	病棟	
共同指導日時	20 _____ 年 _____ 月 _____ 日()	午前・午後	時 _____ 分 ~ 時 _____ 分

—診療・指導内容—

診療情報提供書（開放型病床利用申込書）

20 年 月 日

龍ヶ崎済生会病院

科 先生

医療機関名

所在地

電話

F A X

医師名

(登録医番号)

フリガナ		大・昭・平・令・西暦
患者氏名	男・女	年 月 日生 (歳)
住所	TEL	

保険証記入欄

保険者番号		負担者番号	
記号		受給者番号	
番号	本人・家族	(福) その他 の情報	

紹介目的	診療：
主訴・傷病 (必ずご記入下さい)	
既往歴及び 家族歴	
症状及び 検査結果	
治療経過 処方	
備考	
入院希望	有 ・ 無 (入院予定日 20 年 月 日)
添付資料	X-P (枚) 開放型病床入院同意書 (有 ・ 無) その他 ()

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	援病院開設者との経営上の関係
秋本脳神経外科	秋本 学	龍ヶ崎市川原代町6187-1	脳	無
朝野循環器科クリニック	朝野 晴彦	龍ヶ崎市下町2887	内、循、呼、外	無
あだち内科クリニック	足立 秀喜	牛久市さくら台3-61-15	内、呼、小	無
あべ整形外科	安部 伊知朗	稲敷郡阿見町中央6-20-1	整、リハビリ	無
あみ小林クリニック	小林 弘雄	稲敷郡阿見町若栗1765-1	内、腎内	無
有田内科整形リハビリクリニック	有田 元英	取手市毛有363-2	リハビリ、整、神内、内、消内、小	無
飯泉医院	飯泉 成司	牛久市田宮町140-4	内・消・外	無
飯泉内科クリニック	飯泉 智弘	取手市藤代1121-2	内	無
飯野クリニック	飯野 知足	龍ヶ崎市若柴町2500-1	整、形外、美外、皮、外、内、リハ、耳	無
いがらしクリニック	五十嵐 俊夫	龍ヶ崎市4659の3	産婦・内	無
池田病院	池田 八郎	龍ヶ崎市貝原塚町3690番地の2	精	無
いしかわクリニック	石川 貴久	龍ヶ崎市大徳町5353-1	外・内・整外・肛	無
いずみ内科医院	泉 憲治	牛久市牛久町165-1	内・小・循・呼・消	無
いなしきクリニック	尾澤 英彦	稲敷市蒲ヶ山79-1	整、皮、内、リハビリ	無
犬童こどもクリニック	犬童 道治	牛久市上柏田4-54-10	小	無
井上内科クリニック	井上 由加利	牛久市栄町5-45-1	内	無
印南クリニック	印南 隆一	稲敷郡阿見町荒川本郷1329-1	内、循、外、リハビリ	無
植松整形外科耳鼻咽喉科クリニック	植松 修	牛久市南1-6-40(クリニックビル牛久1F)	整・リウマチ・リハ	無
牛尾病院	牛尾 浩樹	龍ヶ崎市馴柴町1-15-1	内、外、整形、形成、皮膚、乳腺、代謝	無
牛久神谷内科クリニック	籠橋 克紀	牛久市神谷6-41-27	内科、呼内	無
うちだ医院	内田 直孝	龍ヶ崎市藤ヶ丘4-5-3	内・消・皮・小	無
えのもと皮ふ科	榎本 久子	牛久市ひたち野東2-12-6	皮、アレルギー、美容皮膚	無
太田医院	太田 実	牛久市さくら台1-18-2	外・内・整外・リハ・眼・胃・皮・小	無
岡見第一医院	久野 哲弥	牛久市岡見町959-21	内・外・胃・小	無
奥田整形外科クリニック	奥田 英樹	牛久市中央1-21-3	整、リハ	無
小倉胃腸科肛門科	小倉 克徳	牛久市東端穴町1275-2	内・外・胃腸・肛	無
角崎クリニック	廣澤 彰	稲敷市中山4377	内	無
兼子内科・循環器科	兼子 正明	龍ヶ崎市寺後3989-1	循・内・胃・小	無
上柏田クリニック	佐藤 章仁	牛久市上柏田1丁目16-12	内・消・呼・循・小	無
河合医院	河合 清	牛久市田宮町3-2-2	内、外、小、皮	無
菊地整形外科	菊地 達之	龍ヶ崎市北方町633	整	無
草間医院	草間 泰夫	取手市青柳114	内、外	無
結束耳鼻咽喉科医院	結束 信子	牛久市牛久町280 エスカードビル4F	耳鼻咽喉科	無
鴻巣クリニック	鴻巣 俊寿	龍ヶ崎市緑町200	内・婦	無
ことより医院	琴寄 誠	牛久市中央5-12-17	内、消内	無
斎藤クリニック	斎藤 政隆	龍ヶ崎市馴馬町602-7	胃、内、外、整、麻、肛、泌	無
さかえ医院	柏木 康隆	稲敷郡阿見町中央4-8-24	内、呼、外、小	無
坂西眼科医院	坂西 良彦	龍ヶ崎市馴馬町2976-1	眼	無
桜が丘メルクリニック	鎌田 裕十朗	取手市桜が丘1-17-1	内、小	無

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	援病院開設者との経営上の関係
さくらクリニック	櫻井 達夫	龍ヶ崎市中根台1-9-7	内・外	無
佐倉クリニック	山村 一仁	稲敷市佐倉字佐倉原3251-7	内・脳・神内	無
さくら整形外科クリニック	西間木 哲也	取手市桜が丘1-2-1	整、内	無
さくら台土肥クリニック	土肥 敏樹	牛久市さくら台1の1の1	内、循	無
椎名産婦人科	井尻 博子	牛久市中央5丁目12-20	産婦	無
鈴木クリニック	鈴木 利之	稲敷市沼田26897-3	内・外	無
鈴木内科医院	鈴木 博之	北相馬郡利根町早尾890	内・呼・循	無
高野クリニック	高野 信孝	牛久市南1-3-35	内・胃・循・呼	無
高野耳鼻咽喉科クリニック	高野 綾子	牛久市南2丁目22-7	耳	無
高安クリニック	高安 聡	取手市東2-6-41	内、呼	無
滝沢内科医院	瀧澤 義矩	取手市宮和田1049-5	内、小、耳鼻	無
竹村医院	竹村 尚志	取手市東1-2-12	内、眼	無
堤医院	堤 孝一	取手市本郷5-9-21	内、神内、小	無
天満胃腸科クリニック	天満 信夫	牛久市南5-44-8	内、消内、外、肛	無
利根町国保診療所	中沢 義明	北相馬郡利根町羽中200	内・小	無
鳥越クリニック	鳥越 啓隆	牛久市女化町223-5	内・外・脳	無
中野医院	中野 温	牛久市刈谷町3-96	内・循・小・胃・呼	無
なかの循環器クリニック	中野 秀昭	牛久市中央1-21-3	循・内・心外、外	無
中村クリニック	下川 治	龍ヶ崎市米町8686	内・胃・外・泌・肛	無
根本医院	根本 益三	龍ヶ崎市半田町1390	内	無
野上小児科医院	野上 哲夫	龍ヶ崎市南中島町118	小・アレルギー	無
野村医院	大川 典子	龍ヶ崎市根町3316	整、ペイン、内、皮、産科	無
服部内科医院	服部 光治	北相馬郡利根町布川2830-1	内、消内	無
はなみずきクリニック	高山 典子	牛久市中央1-6-22	婦、内、皮	無
ひかりの森 内科クリニック	芳賀 貴章	龍ヶ崎市北方町2084-1	内、循、呼、糖、心	無
ひたちのうしく眼科	山本 敏哉	牛久市ひたち野東4-7-2	眼科	無
ひたち野うしく腎クリニック	小川 裕二郎	牛久市ひたち野西4-11-2	腎内、人工透析、内科	無
ひたちの整形外科	宮内 幸男	牛久市下根町773-1	整、リハビリ	無
ひたちの晴嵐呼吸器内科	三浦 由記子	牛久市ひたち野東1-19-8	内・呼内	無
ひたち野ファミリークリニック	高野 恵輔	牛久市ひた野西2-27-2	内、外、消内、小	無
ひまわり眼科クリニック	岡田 敏樹	龍ヶ崎市若柴町1230-3	眼	無
福岡小児科医院	福岡 和子	龍ヶ崎市若柴町1232	小・内	無
ふたばこどもクリニック	柴田 徹	牛久市下根町773-5	小・内・アレルギー	無
北竜台耳鼻咽喉科クリニック	高橋 和彦	龍ヶ崎市長山7-7-2	耳鼻咽喉科	無
星野皮膚科アレルギー科クリニック	星野 稔	牛久市南1-6-40クリニックビル牛久2階		無
まかべ内科	真壁 文敏	取手市新取手2-10-9	循、内	無
まつなみクリニック	松波 克弘	牛久市ひたち野東331-1-1	乳外、消内、内、外	無
松本アイクリニック	松本 容子	龍ヶ崎市馴柴町790-2	眼	無
松本クリニック	松本 文昭	龍ヶ崎市馴柴町650-1	皮、形成、内	無

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	援病院開設者との経営上の関係
丸野医院	丸野 透	取手市稲853	脳外、内、循、リハビリ	無
みやおか外科整形外科クリニック	清宮 稔博	龍ヶ崎市馴柴町635	整外・外	無
みやざきホスピタル	宮崎 幸枝	稲敷市上根本3474	精・神・内・心内・小・歯	無
宮本病院	宮本 二郎	稲敷市幸田1247番地	内・消・循・小・神内・眼・泌・皮・精・整・放・リハ	無
村井医院	村井 敏夫	龍ヶ崎市愛戸町55番地	内	無
村田内科クリニック	村田 達也	取手市谷中34-1	内、外、小	無
村山内科クリニック	村山 耕子	牛久市南1-6-40 クリニックビル牛久3F	内、呼内、糖、生活習慣	無
八代内科医院	渡辺 正樹	龍ヶ崎市八代町1078-2	内	無
山中医院	山中 秀人	北相馬郡利根町中田切1-1	内、消、糖、漢方、循、呼、整、リハ	無
山村医院	山村 邦男	龍ヶ崎市佐貫3-5-5	内・消・循・神経・小	無
山本医院	山本 法勝	龍ヶ崎市佐貫町560番地	内・循・小・眼・整	無
ゆはらクリニック	湯原 恭子	稲敷市古渡39	内、消内、小	無
ユビキタスクリニック龍ヶ崎	内田 義之	龍ヶ崎市藤ヶ丘7-1-6-101	内・呼・アレルギー	無
ゆめみ野クリニック整形外科	許 表楷	取手市ゆめみ野1-71-3	整、リハビリ	無
横田医院	医療法人明朝会	龍ヶ崎市2941	皮・泌・内	無
吉澤胃腸科医院	吉澤 龍雄	龍ヶ崎市佐貫1-4-5	胃・内・小	無
竜ヶ崎医院	佐藤 一美	龍ヶ崎市川原代町2641	内・小	無
龍ヶ崎大徳ヘルシークリニック	島倉 秀也	龍ヶ崎市大徳町1298-3大徳ヘルシービル1F	内、消内、心内	無
渡利耳鼻咽喉科医院	渡利 昭彦	龍ヶ崎市寺後3585-2	耳鼻咽喉科・気管食道科	無

2024年度 研修実績報告

開催日・場所	研修会名	内容	出席者								
			院外				院内				合計
			医師		その他		医師		その他		
会場	Web	会場	Web	会場	Web	会場	Web				
2024年4月22日(月) 済生会ホール Web配信あり	第211回 地域連携カンファレンス	骨粗鬆症について 講師:整形外科 野上 裕子先生 小児の心身症 講師:小児科部長 西上 奈緒子先生	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	26
3	2	0	0	8	0	9	4				
2024年5月27日(月) 済生会ホール Web配信あり	第1回 感染対策カンファレンス	アンチバイオグラムの報告 講師:臨床検査科 太田 裕野 老人保健施設におけるCOVID-19クラスター報告 講師:龍ヶ岡 土屋、感染管理室	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	30
4	5	0	7	2	0	12	0				
2024年6月24日(月) 済生会ホール Web配信あり	第212回 地域連携カンファレンス	IgA血管炎について 講師:小児科 藤田 節先生 急性胆管炎について 講師:消化器内科 伊藤 嘉美先生	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	28
3	5	0	0	10	1	9	0				
2024年6月27日(木) 済生会ホール Web配信あり	第1回地域看護研修会	PICCについて 講師:特定行為看護師 磯山 夏輝	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	47
0	0	1	12	0	0	33	1				
2024年7月4日(木) 第2.3会議室 Web配信あり	第1回 栄養士連携の会	当院におけるアレルギーの対応について 講師:栄養科 平瀬 愛理	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	17
0	0	7	5	0	0	5	0				
2024年7月19日(金) 第2.3会議室 Web配信あり	リハビリテーション科勉強会	自立した生活を助ける福祉用具 講師:作業療法士 鈴木 直子	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	16
0	0	0	6	0	0	8	2				
2024年7月22日(月) 済生会ホール Web配信あり	第2回 感染対策カンファレンス	コロナ禍による小児科の影響 講師:小児科 西上 奈緒子先生 小児科における感染対策について、サーベイランス報告 講師:感染管理室認定看護師 木村 昌代	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	21
2	7	0	4	2	0	6	0				
2024年9月26日(木) 済生会ホール Web配信あり	第2回地域看護研修会	考えよう地域で暮らす慢性心不全患者のこれから ～一歩前からの連携～ 講師:心不全特定認定看護師 浅野 正巳 入退院支援室 副看護師長 坂本 良恵	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	113
		39				74					
2024年10月23日(水) 済生会ホール	第8回 がん化学療法病薬連携研修会	トレーニングレポートを活用し、病薬連携力を高めよう 座長:仁平幸子科長 講演:小林望	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	33
0	0	20	0	0	0	13	0				
2024年10月28日(月) 済生会ホール Web配信あり	第213回 地域連携カンファレンス	悪性胸膜中皮腫に対して胸膜剥皮術を行い、長期生存した一例 講師:呼吸器内科 柴垣 厚仁先生 S状結腸癌術後2年目に発症した非外傷性膀胱破裂に対し腹腔鏡下修復術を施行した1例 講師:消化器外科部長 野渡 剛之先生	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	21
2	3	0	0	8	1	7	0				
2024年10月31日(木) 第2.3会議室 Web配信あり	第2回 栄養士連携の会	当院における嚥下調整食分類コード4調理の工夫 講師:栄養科 西室 怜奈 嚥下調整食分類コード4について考える 講師:ニュートリー株式会社 営業部 菅原 裕介	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	医師 会場	医師 Web	その他 会場	その他 Web	10
0	0	5	1	0	0	4	0				

